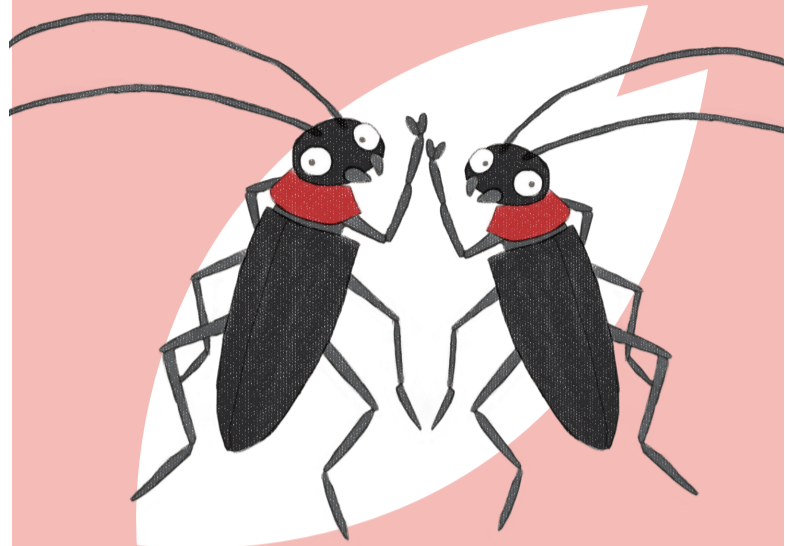


クビアカツヤカミキリ サクラたべちゃうぞ～



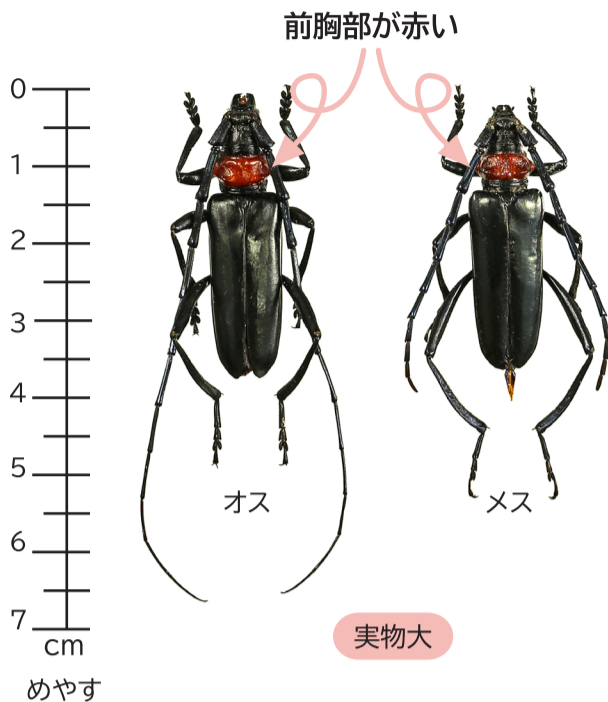
クビアカツヤカミキリは海外（中国など）から入って来た外来のカミキリムシ。

サクラ、ウメ、モモなどに被害を与えます。日本では2011年に初確認、都内では2015年に初確認後、拡散を続けています。クビアカツヤカミキリの被害で一番怖いのは幼虫が木の中を食べ、木を弱らせてしまうこと。放っておくと周りの木にも広がり、最終的には数年で枯れてしまうことも。

一緒に探してください！

東京都環境局 自然環境部 計画課
TEL 03-5388-3506

クビアカツヤカミキリって どんな虫？



特徴

体長 2.5 ～ 4cm。ツヤのある黒い体に赤い胸部が目立つ。オスの触角は体長の2倍程度で長い。成虫は6～8月に活動し、樹皮の割れ目に産卵する。幼虫は木の中を食べて育ち、1～2年後に幹に穴をあけて羽化する。



幼虫

なんの木を食べるの？

モモ大好き
サクラやウメ、モモなどのバラ科の樹木。



都内にはサクラが多いのだ～

狙われやすい木

サクラなどのバラ科の幹は、若く細いときはツルツルで、年月が経ち太くなると割れ目ができてガサガサしてくる。

太くガサガサの幹こそ、クビアカツヤカミキリの大好物！



ツルツルの幹



ガサガサの幹

中に幼虫がいると木が食べられ続け、弱ってポロポロになり枯れてしまうことも……！



クビアカツヤカミキリによって枯れたサクラ

詳しくは「東京都クビアカ」で検索するのだ
5231

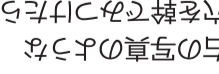
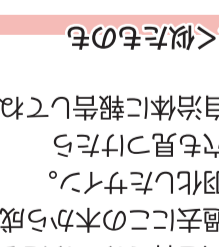


早い発見と被害情報の共有が、クビアカツヤカミキリの拡大を防ぐことにつながるよ。

特定外来生物は、生きたままの移動・運搬・飼育が禁止されている。違反すると罰則対象になることも。見つけても持ち帰らず、その場で適切に対処しよう。

特定外来生物

クビアカツヤカミキリは



被害を受けたもう一つのサイン

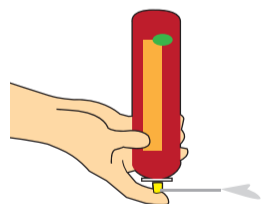
見つけたときは？

1 成虫はその場で退治



生きたまま持ち帰ることは法律で禁止されている。成虫を発見したら、その場で踏み潰したり殺虫剤などで退治しよう！

2 自分で防除



自宅の庭木などにツラスを見つけたときは、市販の殺虫剤をつかって自分で対処することができます。一週間ほど様子を見て、ツラスが止まると成功！

3 自治体へ知らせる



○見つけた場所
○ツラスやクビアカツヤカミキリの写真を記録して自治体に報告しよう！
退治した後の写真でもOK！
※ネット巻きや掲示等、対策中の木は改めての連絡は不要です。

伐採も対策

大切な木でも、被害が進むと幼虫の除去はとても難しくなり、やがて成虫が飛び立つか、周りの元気な木まで枯らしてしまいます。その前に伐採や植え替えも大切な対策の一つです。伐採には適した時期があるので、まずは自治体に相談してみよう。

似たものも



ツラスとは、幼虫のツラス木くさくさになったもの。夏～秋ごろによくみられる。クビアカツヤカミキリのツラスは、長くつながって出て、固いことが多い。ほぐしてみると薄片状の木くさくさになる。

ツラスを探そう

危険なサイン？

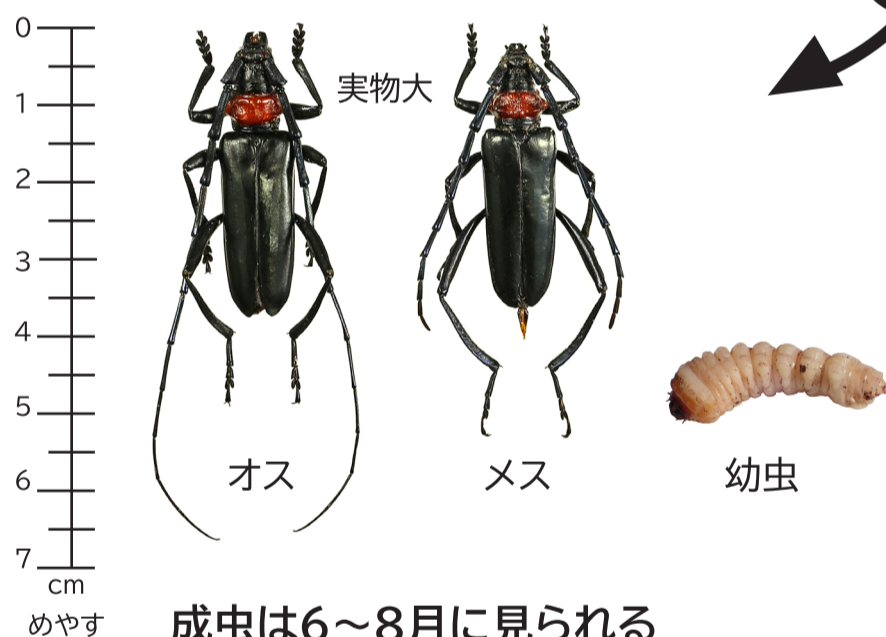
木から **こんな木くず** 出ていませんか？



それ

クビアカツヤカミキリ

のしわざかも！！



成虫は6～8月に見られる
幼虫は春～秋にかけて木を食害する

クビアカツヤカミキリはサクラなどを食害し、最終的に枯らすこともある**特定外来生物**です。被害拡大の防止のため、情報を集めています。成虫や幼虫が出すフラス※を発見したら被害にあっている可能性があります。すぐに自治体へ連絡してください。

※フラス：フンと木くずが混ざったもの のこと

似ている木くずも



コスカシバ
よくみるとつぶつぶ



ゴマダラカミキリ
よくみると繊維質



蟻道 (ぎどう)
アリが作る通り道

クビアカツヤカミキリは**特定外来生物**に指定されているため、**生きたままの移動・運搬・飼育は、法律により禁止されています。**